

# I-O DATA

## 管理マニュアル

**LAN DISK Z**  
HDL2-Z22SI3A シリーズ

すぐ取り出せる場所に保管してください

注意事項など

初期設定

故障時の対応

資料



MANU000974

# もくじ

## 注意事項など

本製品を使う上で、お守りいただきたいご注意です。必ずお読みください。

## 使う前に

安全のために.....	3
使用上のご注意.....	5
添付品を確認する.....	8
動作環境.....	9
各部の名称・機能.....	11

## 初期設定

本製品の設置・導入方法を説明しています。最初におこなうべき設定もまとめています。

## 導入する

設置する.....	14
リモートデスクトップ接続する.....	18
NarSuSに登録する.....	20
初期設定.....	25
管理ソフト「ZWS Manager」.....	31
RAID設定.....	32
Active Directoryへ参加する.....	36
その他の設定.....	41
困った時には.....	41

## 故障時の対応

故障の確認、復旧方法などを説明しています。

## 故障時の対応

故障と思ったら.....	42
オプションディスク.....	43
カートリッジの交換方法.....	44
システムリカバリーする.....	46

## 資料

本製品の資料情報です。

## 資料

出荷時設定.....	51
ZWS Managerのログ、メール一覧.....	52
アフターサービス.....	55
ハードウェア保証規定.....	57

# 使う前に

## 安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

### ▼警告および注意表示

-  **警告** この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。
-  **注意** この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

### ▼絵記号の意味

-  禁止
-  指示を守る

### 警告

#### 本製品を修理・改造・分解しない

 発火や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。

#### 雷が鳴り出したら、本製品や電源コードには触れない

 感電の原因になります。

#### 故障や異常のまま、つながない

 本製品に故障や異常がある場合は、必ずつないでいる機器から取り外してください。そのまま使うと、発火・感電・故障の原因になります。

#### ACアダプターや本製品をぬらしたり、水気の多い場所で使わない

 水や洗剤などがACアダプターや本製品にかかると、隙間から浸み込み、発火・感電の原因になります。

- ・お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
- ・水の入ったもの（コップ、花瓶など）を上に乗らないでください。
- ・万一、ACアダプターや本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使用しないでください。

#### 本製品の小さな部品を乳幼児の手の届くところに置かない

 誤って飲み込み、窒息や胃などのへ障害の原因になります。万一、飲み込んだと思われる場合は、ただちに医師にご相談ください。

#### 本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない

 発火の原因になります。

#### 本製品の取り付け、取り外し、移動は、必ず本製品の電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてからおこなう

 電源コードを抜かずにおこなうと、感電の原因になります。

#### 決められた電源で使用する

 所定以外の電源で、本製品を使用すると発火・感電の原因になります。

#### 煙がでたり、変なにおいや音がしたら、すぐに使うのを止める

 そのまま使用すると発火・感電の原因になります。

注意事項など

初期設定

故障時の対応

資料

**警告 ●電源 (AC アダプター・コード・プラグ) について**

AC アダプターや電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使わない

電源コードから発煙したり、発火の原因になります。

添付の AC アダプターや電源コードは、他の機器につながらない

発火や感電の原因になります。添付の AC アダプターや電源コードは、本製品専用です。

AC 100V (50/60Hz) 以外のコンセントにつながらない

発火、発熱のおそれがあります。

コンセントまわりは定期的に掃除する

長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つまったホコリが湿気などの影響を受けて、発火の原因になります。(トラッキング現象)  
トラッキング現象防止のため、定期的に電源プラグを抜いて乾いた布で電源プラグをふき掃除してください。

熱器具のそばに配線しない

電源コード被覆が破れ、発火や感電、やけどの原因になります。

電源コードや AC アダプターにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはいしない

電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。電源コードの芯線(電気の流れるところ)が断線したり、ショートし、発火・感電の原因になります。

煙がでたり、変なにおいや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く

そのまま使うと発火・感電の原因になります。

ゆるいコンセントにつながらない

電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでゆるみがあるコンセントにはつながらないでください。発熱して発火の原因になります。

じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない

発火の原因になります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると傷が付き、発火や感電の原因になります。

テーブルタップを使用する時は定格容量以内で使用する、たこ足配線はしない

テーブルタップの定格容量(1500W などの記載)を超えて使用するとテーブルタップが過熱し、発火の原因になります。

**注意**

本製品を踏まない

破損し、ケガの原因となります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

取り付け、取り外しの際は手袋をつける

ハンダ付けの跡やエッジ部分などがとがっている場合があります。誤って触れると、けがをすおそれがあります。

人が通行するような場所に配線しない

足を引っ掛けると、けがの原因になります。

# 使用上のご注意

## 《重要》データバックアップのお願い

本製品は精密機器です。突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。

万一に備え、本製品内に保存された重要なデータについては、必ず定期的に「バックアップ」をおこなってください。

本製品または接続製品の保存データの破損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。また、弊社が記録内容の修復・復元・複製などをする事もできません。なお、何らかの原因で本製品にデータ保存ができなかった場合、いかなる理由であっても弊社は一切その責任を負いかねます。

### バックアップとは

本製品に保存されたデータを守るために、別の記憶媒体(HDD・BD・DVD など)にデータの複製を作成することです。(データを移動させることは「バックアップ」ではありません。同じデータが2か所にあることを「バックアップ」と言います。)

万一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータを使えますので安心です。不測の事態に備えるために、必ずバックアップを行ってください。

## 最新のファームウェアをご利用ください

本製品のハードウェア保証適用のために、ファームウェアまたはソフトウェアは常に弊社が提供する最新版にアップデートしてご利用ください。最新版でない場合、保証適用を受けられない場合もあります。

## 本製品を廃棄や譲渡などされる際のご注意

・HDD などのストレージに記録されたデータは、OS 上で削除したり、フォーマットするなどの作業をおこなっただけでは、特殊なソフトウェアなどを利用することで、データを復元・再利用できてしまう場合があります。その結果として、情報が漏洩してしまう可能性もありますので、情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめします。

※ハードディスク上のソフトウェア(OS、アプリケーションソフトなど)を削除することなくハードディスクを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。

・NarSuS に登録している場合は、製品登録情報を削除してください。

・本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

注意事項など

初期設定

故障時の対応

資料

## SSD 搭載モデルの保証総書き込み量について

SSD は書き込める量に上限があることから、弊社で保証できる書き込み量を設定させていただいております。それを、本製品では「保証総書き込み量」と表現いたします。

保証総書き込み量は、下記 Web ページでご確認ください。



<https://www.iodata.jp/product/nas/wss-nas/hdl2-z22si3a/spec.htm>

### ■保証総書き込み量に達した場合

総書き込み量が保証総書き込み量に達した場合、保証期間が残っていても SSD カートリッジは保証対象外となります。

また、保証総書き込み量を超えた状態で利用し続けた場合、SSD への書き込みができなくなる可能性があります。お早めに SSD カートリッジを交換してください。

### ■総書き込み量の確認方法

添付ソフトの ZWS Manager で確認できます。詳しくは、ZWS Manager ヘルプをご覧ください。

## その他のご注意

- ・動作中に本製品や外付け HDD の電源を切らないでください。故障の原因になったり、データを消失するおそれがあります。
- ・本製品はローカルネットワーク上でご利用ください。本製品にグローバル IP アドレスを割り当て、直接インターネットに公開すると非常に危険です。ルーターを設置するなどして、インターネットから攻撃を受けないようにするなど、お客様にてセキュリティ確保をお願いいたします。
- ・動作確認済み以外のソフトウェアは、インストール（利用）しないでください。本製品の安定運用に影響を及ぼすおそれがあります。  
動作確認済みのソフトウェアは以下の弊社ホームページをご確認ください。  
[https://www.iodata.jp/product/hdd/taiou/landisk\\_soft.htm](https://www.iodata.jp/product/hdd/taiou/landisk_soft.htm)
- ・本製品を以下のような機能を設定して、利用することはできません。
  - ファイアウォール、VPN、Web キャッシュの役割
  - メールサーバー
  - 認証サーバー（ドメインコントローラー等）
  - ネットワーク・インフラストラクチャ・サービス（Web サーバー等）
- ・本製品は「スリープ」には対応しておりません。

## お手入れについて

本製品についた汚れなどを落とす場合は、本製品の電源を切り、電源コードを抜いてから、柔らかい布で乾拭きしてください。

- ・汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に乾いた布で拭く。
- ・ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使わない。変質したり、塗装をいためたりすることがあります。
- ・市販のクリーニングキットは使わない。

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

注意事項など

初期設定

故障時の対応

資料

## 添付品を確認する

- AC アダプター (1 個)
- 電源コード (1 本) ※ AC アダプター専用
- AC プラグ変換アダプター (1 個)
- カテゴリー 6A LAN ケーブル (1 本)
- リカバリー用 USB メモリー (1 個)
- NAS メンテナンスカード (1 枚)
- 管理マニュアル (本書)

### NAS メンテナンスカードについて

本製品のシリアル番号 (S/N) が記載されています。  
本製品側面のカードフォルダーに入れて保管します。

### ユーザー登録はこちら…<https://ioportal.iodata.jp/>

ユーザー登録にはシリアル番号 (S/N) が必要となりますので、メモしてください。  
シリアル番号 (S/N) は本製品貼付のシールに印字されている 12 桁の英数字です。  
(例: ABC1234567ZX)

### AC プラグ変換アダプターの接地接続 (アース接続) についてのご注意

接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。  
また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行って下さい。

## 動作環境

### 対応機種・OS・ハードウェア仕様

以下の弊社 Web ページにアクセスしてご確認ください。

<https://www.iodata.jp/product/nas/wss-nas/hdl2-z22si3a/>



### ご注意

- 本製品および別売オプション HDD 以外のご利用はサポート対応外となります。
- 本製品の設定には、Windows のリモートデスクトップ機能を利用しています。Mac など他のパソコンからの設定はおこなえません。上記「本製品の設定に必要な環境」の「環境②」をご用意ください。
- 本製品は、RAID 構成により、ハードディスクの故障によるデータの破損およびシステムダウンを防ぐことはできませんが、ウイルスの感染やユーザーの操作ミス、使用中の停電などのトラブルに起因するデータ損失を防ぐことはできません。USB HDD などへのバックアップをご利用ください。

### 対応外付け HDD

以下の弊社 Web ページをご確認ください。

<https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/hdd.htm>



### ご注意

- 外付け HDD をはじめて本製品に接続して使用する場合は、必要に応じてフォーマットをおこなってください。
- 外付け HDD は、本製品のバックアップ先としてのみ使用してください。

### 対応周辺機器

以下の弊社 Web ページをご確認ください。

<https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/peripheral.htm>



## 対応 UPS

以下の弊社 Web ページをご確認ください。

<https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/ups.htm>



### UPS との電源連動方法について

本製品は、出荷時設定で停電などで電源が落ちた際でも復電時に自動で起動します。

※この場合でも元々本製品の電源が入っていない場合は起動しません。

設定を変更する場合は、以下をお試しください。

- ① 本製品の電源投入直後より、USB キーボードの [Delete] キーを押しつづける  
→ BIOS 設定画面が起動します。
- ② カーソルキーで [Chipset] → [ PCH-IO Configuration ] → [State After G3] を選び、[Enter] キーを押す
- ③ 設定値を選び、[Enter] キーを押す

Last State	前回の状態を維持します。(出荷時設定)
Always On	電源復電後、本製品が起動します。
Always Off	電源復電後、本製品は電源オフのままにします。

- ④ [Save & Exit] → [Save Changes and Reset] を選び、[Enter] キーを押す

## 対応ソフトウェア

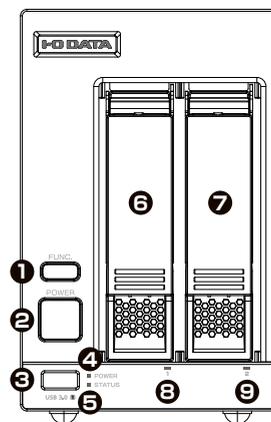
以下の弊社 Web ページをご確認ください。

<https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/soft.htm>



# 各部の名称・機能

## 前面



① FUNC. ボタン		エラー発生時にブザーが鳴り続けている時、2 秒以上押し続けるとブザーを停止します。 また、6 秒以上押し続けるとあらかじめ登録したプログラムを実行できます。
② POWER ボタン		短押し (1 秒程度) → 本製品の電源を ON/OFF します。 ※電源 ON の状態で 3 秒以上押し続けると強制電源 OFF になります。 3 秒以上電源ボタンを押し続けしないでください。
③ USB ポート 1		増設用 USB ポートです。(USB 3.2 Gen1)
④ POWER ランプ	消灯	コンセント未接続
	赤点灯	電源 OFF (コンセント接続済み)
	緑点灯	電源 ON
⑤ STATUS ランプ		本製品の状態を示します。 詳しくは、【故障と思ったら…】(42 ページ) をご覧ください。
⑥ ディスク 1		カートリッジを接続します。
⑦ ディスク 2		脱着レバーは、カートリッジを取り出す際に利用します。
⑧ ディスク 1 ランプ	青点灯	正常認識時
	青点滅	アクセス時
⑨ ディスク 2 ランプ	赤点灯	エラー時
	消灯	未接続時

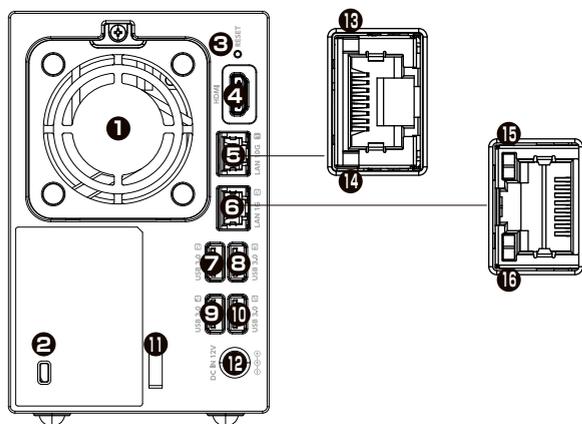
注意事項など

初期設定

故障時の対応

資料

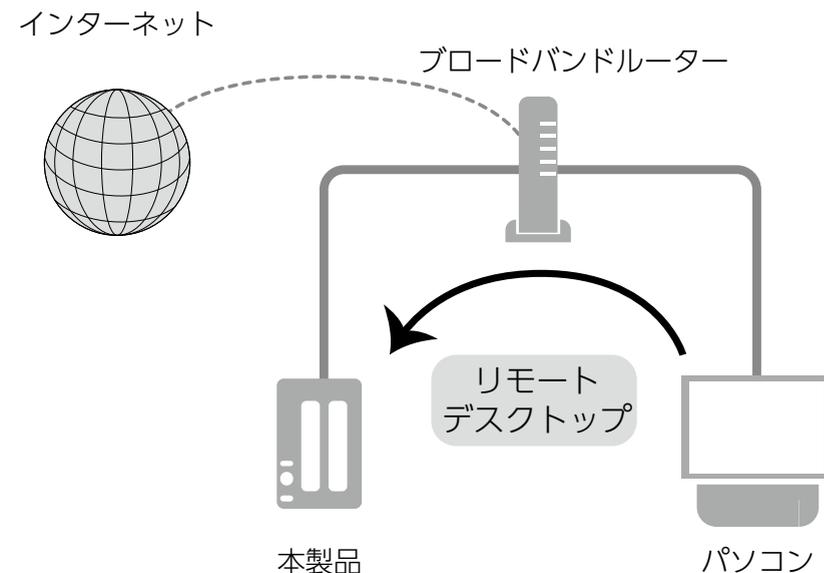
## 背面



① FAN	冷却用 FAN です。ふさがないようにください。	
② ケンジントンセキュリティスロット	盗難対策にケンジントン製ロックを取り付けられます。	
③ RESET スイッチ	使用しません。	
④ HDMI コネクター	ディスプレイを接続します。※ HDMI Rev1.4b (HDCP 非対応)	
⑤ LAN ポート 1 (10G)	添付の LAN ケーブルを接続します。 ※最大 10Gbps (理論値) で通信するには、ネットワークが 10GbE に対応している必要があります。LAN ケーブルについて、55m まではカテゴリ 6 で対応可能です。	
⑥ LAN ポート 2 (1G)	添付の LAN ケーブルを接続します。	
⑦ USB ポート 2	増設用 USB ポートです。(USB 3.2 Gen1)	
⑧ USB ポート 3		
⑨ USB ポート 4		
⑩ USB ポート 5		
⑪ ケーブルフック	AC アダプターが抜けないように引っかけるフックです。	
⑫ DC-IN	添付の AC アダプターを接続します。	
⑬ Link/Act ランプ (10G)	黄緑点灯	Link 中
	黄緑点滅	データを送受信中
	消灯	未接続
⑭ LAN Speed ランプ (10G)	黄緑点灯	10G
	橙点灯	5G/2.5G/1G/100M のいずれか
	消灯	未接続
⑮ Link/Act ランプ (1G)	黄緑点灯	Link 中
	黄緑点滅	データを送受信中
	消灯	未接続
⑯ LAN Speed ランプ (1G)	黄点灯	1G
	消灯	100M/10M/ 未接続のいずれか

# 導入する

本製品は、同一ネットワーク上にあるパソコンからリモートデスクトップ機能を利用して管理します。  
また、本製品に直接ディスプレイなどを接続し、管理することもできます。



### 本製品を複数台導入する場合

コンピューター名が重複すると、一方の本製品がネットワーク上で認識されないなどの不具合になります。  
先に初期設定を完了している本製品のコンピューター名を変更してから、次の本製品の初期設定をおこなってください。

【コンピューター名 / ドメイン名の設定を確認する】(29 ページ) 参照

注意事項など

初期設定

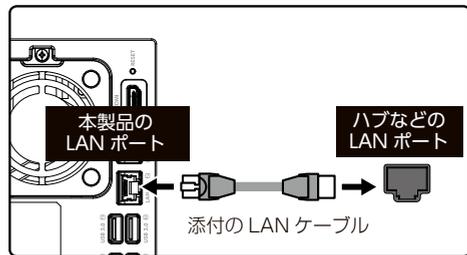
故障時の対応

資料

# 設置する

※ネットワークを利用せずに設定する場合は、【ネットワークを利用せずに設定する場合】(16 ページ) をご覧ください。

## 1 添付の LAN ケーブルを本製品とハブにつなぐ



### 10G LAN ポート

カテゴリ 6A の LAN ケーブルで接続すると最大 10Gbps (理論値) で通信することができます。

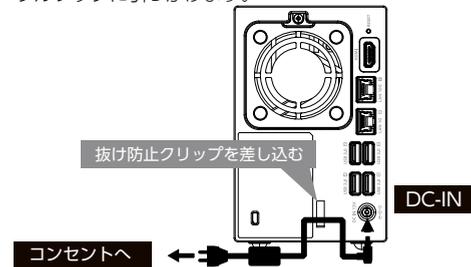
※最大 10Gbps (理論値) で通信するには、ネットワークが 10GbE に対応している必要があります。

### ご注意

- 必ず、LAN ケーブルが確実に接続されていることを確認してから本製品の電源を入れてください。LAN ケーブルを接続する前に本製品の電源を入れると、正しくネットワークに参加できなくなります。

## 2 添付の電源コードを本製品とコンセントにつなぐ

※ケーブルフックに引っかけます。



※必要に応じて AC プラグ変換アダプターをご利用ください。

## 3 前面の電源ボタンを押す

本製品の電源が入ります。

次に【リモートデスクトップ接続する】(18 ページ) へお進みください。

### 電源を切る場合

- 動作中にシャットダウンを完了せずに、電源コードを抜いたり、スイッチ付き AC タップのスイッチを OFF にするなどして電源を切らないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。電源の切り方については、次ページをご覧ください。

## 電源の切り方

### ご注意

- 外付け HDD がある場合は、本製品の電源を切ってから、外付け HDD の電源を切ってください。
- ファイルコピー中に本製品や外付け HDD の電源を切るとコピーの処理が正常におこなわれません。本製品や外付け HDD のアクセスランプを確認の上、電源を切ってください。
- 本製品設定中は本製品の電源を切らないでください。
- 本製品起動処理中は本製品の電源を切ることはできません。
- 長期間使用しない場合は、電源コードをコンセントから外しておくことをおすすめします。

### 本製品の電源ボタンで切る

本製品前面の電源ボタンを短押し (1 秒程度) します。  
シャットダウン処理が終了すると、自動的にランプが消灯します。

### ご注意

- ランプが消える前に、絶対に電源ケーブルを抜かないでください。故障の原因になります。
- POWER ボタンを 3 秒以上長押ししないでください。  
強制シャットダウンになり、故障やデータ消失の原因となります。

### リモートデスクトップで切る

- ① [スタート] → [電源] をクリックし、[シャットダウン] をクリックします。
- ② 該当する理由を選択し、[続行] をクリックします。

シャットダウン処理が終了すると、自動的にランプが消灯します。

注意事項など

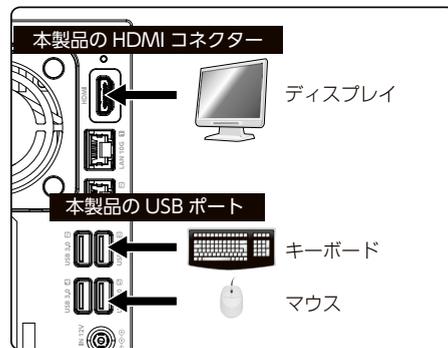
初期設定

故障時の対応

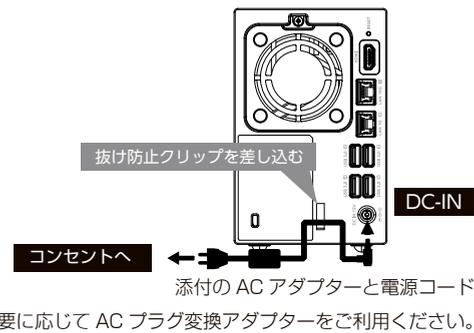
資料

## ネットワークを利用せずに設定する場合

- 1 ① HDMI コネクタにディスプレイをつなぐ  
② USB ポートにキーボード、マウスをつなぐ



- 2 添付の電源コードを本製品とコンセントにつなぐ  
※ケーブルフックに引っかけます。



- 3 前面の電源ボタンを押す

OS 選択画面では…  
[Windows Server] を選択し、Enter キーを押してください。



パスワードは、後ほど変更してください  
●出荷時パスワードは「admin」です。セキュリティのため、パスワードは変更してください。  
（【困った時には】（41 ページ）参照）

ログインに成功すると、初期画面が開きます。この画面から設定をおこないます。次に【NarSuS に登録する】（20 ページ）へお進みください。

# リモートデスクトップ接続する

## MagicalFinder をダウンロードする

### MagicalFinder とは？

MagicalFinder は、ネットワーク上の LAN DISKなどを自動検出し、IP アドレス設定やリモートデスクトップ接続をおこなうことができるソフトウェアです。

同一ネットワーク上にあるパソコンから本製品を検出し、リモートデスクトップ接続ができます。

本製品と同一ネットワーク上にあるパソコンから、以下の弊社 Web ページにアクセスし、ダウンロードしてください。

<https://www.iodata.jp/r/3022.htm>

## リモートデスクトップ接続する

### 1 MagicalFinder を起動する

### 2 検出された本製品をクリック



本製品が検出されない  
[更新] をクリックしてください。それでも検出されない場合は、本製品やお使いのパソコンがネットワークに接続されていることをご確認ください。

### 3 [リモートデスクトップを開く] をクリック



### [ネットワーク設定を変更] について

コンピューター名の変更、ワークグループの変更、IPv4 設定 (IPv6 設定) などのネットワーク設定ができます。

ここで設定できる項目はデバイスの種類やシステムバージョンによって異なります。

※ Active Directory ドメインに参加している場合、ネットワーク設定の変更はできません。

設定方法は、Magical Finder のヘルプをご確認ください。

### 4



①以下の資格情報を入力

ユーザー名	administrator
パスワード	admin

② [OK] をクリック

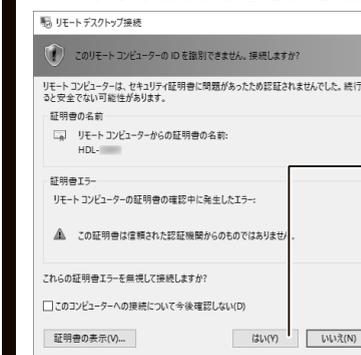
※上記画面が表示されない場合は、本製品とパソコンが同じセグメントにないことが考えられます。前ページの【[ネットワーク設定を変更] について】で IP アドレスをご確認ください。

### パスワードは、後ほど変更してください

●出荷時パスワードは「admin」です。セキュリティのため、パスワードは変更してください。

(【困った時には】(41 ページ) 参照)

### 以下のような画面が表示された場合



[はい] をクリック

リモートデスクトップ接続をして、本製品の画面が開きます。次に【NarSuS に登録する】(20 ページ) へお進みください。

### Windows の [リモートデスクトップ接続] から開く場合

1. 以下の手順で [リモートデスクトップ接続] を起動する

● Windows 10 の場合

[スタート] → [すべてのアプリ] → [Windows アクセサリ] → [リモートデスクトップ接続] をクリック

● Windows 11 の場合

タスクバーの虫眼鏡アイコンをクリックし、「リモート」で検索し、検索された中から [リモートデスクトップ接続] をクリック

### 2. ①コンピューター名を入力



### コンピューター名について

出荷時設定では、HDL-Z22SI3A を入力します。

② [接続] をクリック

このあと、上記手順 4 をご覧ください。

注意事項など

初期設定

故障時の対応

資料

# NarSuS に登録する

## NarSuS (ナーサス) とは？

NarSuS は、24 時間 365 日、お客様の NAS を見守る安心サービスです。万一トラブルが発生しても、自動的にメールでトラブルをお知らせします。本製品に接続された UPS や外付け HDD の見守りもおこなえます。詳しくは以下の URL から、NarSuS ヘルプをご確認ください。

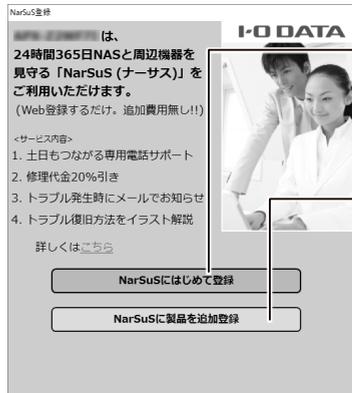
[https://www.iodata.jp/lib/manual/narsus\\_help\\_lib/index.html](https://www.iodata.jp/lib/manual/narsus_help_lib/index.html)



## ご注意

- 本機能は、IPv4 ネットワークでのみ使用できます。
- Internet Explorer でご利用の場合、あらかじめ "https://www.narsus.jp" を [インターネットオプション] → [セキュリティ] から [信頼済みサイト] に登録しておいてください。

1 ※本製品へのログインに成功したら、以下のような画面が表示されます。

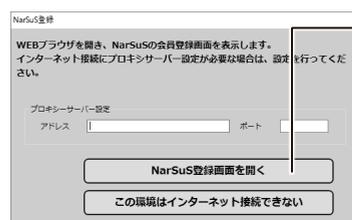


● NarSuS に LAN DISK を登録したことがない場合  
[NarSuS にはじめて登録 (無料)] をクリック

●すでに他の LAN DISK を登録している場合  
[NarSuS に製品を追加登録] をクリック

※ NarSuS 登録をしてから、本製品の設定をおこなってください。

2 [NarSuS 登録画面を開く] をクリック



### [プロキシサーバー設定]

インターネット接続にプロキシサーバーの設定が必要な場合は、ご利用のネットワーク管理者に設定等をご確認ください。

### インターネットに接続できない場合

[インターネットに接続できない環境で NarSuS に登録する] (23 ページ) をご覧ください。

3



内容を確認し、  
[同意 / 新規登録] をクリック

## 追加で登録する場合



①登録済みの [ID]、[パスワード] を入力

② [ログイン] をクリック



③ [同意 / 追加登録] をクリック

このあと、手順 3 へお進みください。

4

画面の指示にしたがって、必要事項を入力し登録する

※ LAN ポートが複数ある LAN DISK の場合は、「MAC1」の MAC アドレスを入力してください。

5

登録が完了したら、Web ブラウザーを閉じる

登録通知メールが送付されますので、保管しておいてください。

以上で NarSuS 登録は完了です。

## ご注意

- 登録に失敗した場合、以下をご確認ください。
  - ・本製品がインターネットに接続可能な環境に設置されていること (LAN ケーブルが正しく接続されていること)
  - ・プロキシを介してインターネットへ接続する場合は、プロキシが正しく設定されていること
  - ・本製品の TCP/IP 設定を手動でおこなっている場合は、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバーが正しく設定されていること
  - ・お使いの Web ブラウザーのキャッシュ (Cookie) をクリアして再度お試しください。

注意事項など

初期設定

故障時の対応

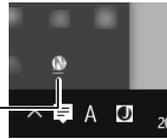
資料

### NarSuS へのログイン方法

方法 1 以下 URL にアクセスしてください。

<https://www.narsus.jp/>

方法 2 ①タスクトレイのアイコンをクリック

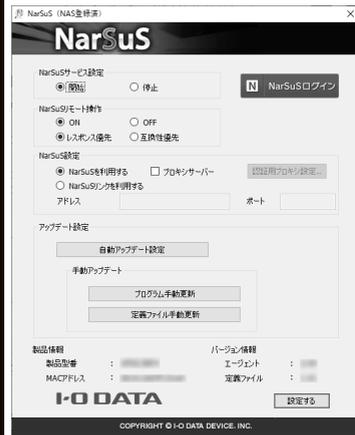


② NarSuS 設定画面右上の

[NarSuS ログイン] ボタンをクリック



### NarSuS 設定画面



NarSuS リモート設定	通常は [OFF] にしてご利用ください。 ※アイオー保守パートナー様向けの拡張機能です。本製品のファームウェアバージョンアップなど、定期的なメンテナンスをリモート操作で実施可能になります。
NarSuS 設定	プロキシの設定が必要な場合、【プロキシサーバー】にチェックをつけ、プロキシサーバーの【アドレス】と【ポート】を入力します。 ※設定内容については、ご利用のネットワーク管理者に確認してください。 ※【認証用プロキシ設定】をクリックすると、認証用の【ユーザー名】 【パスワード】を設定できます。
アップデート設定	自動アップデート設定 NarSuS アプリや NarSuS のイベント通知の定義ファイルが更新された場合の、自動アップデートについて設定します。 自動アップデートする場合は、実行する曜日、時刻を設定できます。 ※出荷時には、自動アップデートは有効になっています。
	プログラム手動更新 クリックすると、本 NarSuS アプリを更新します。
	定義ファイル手動更新 クリックすると、NarSuS のイベント通知の定義ファイルを更新します。

※アップデート時に再起動する場合があります。ご注意ください。  
※本設定は、管理ソフト「ZWS Manager」のアップデートも対象です。

### 利用コードの確認

設定によっては、利用コードを求められます。

NarSuS の Web ページにログインし、本製品を選んだ後、【製品詳細登録】をクリックして、利用コードを確認してください。

### NarSuS の利用方法

NarSuS へログイン後、  
[NarSuS のヘルプ] をクリック

スマートフォンからは、以下の QR コードを読み込むと閲覧できます。



### インターネットに接続できない環境で NarSuS に登録する

1 インターネットに接続できるパソコンから、次の URL にアクセスする  
<https://www.narsus.jp/user-reg>

2



内容を確認し、  
[同意 / 新規登録] をクリック

### 追加で登録する場合



① [同意 / 追加登録] をクリック



②登録済みの [ID]、[パスワード] を入力

③ [ログイン] をクリック

このあと、手順 3 へお進みください。

3 画面の指示にしたがって、必要事項を入力し登録する

※ LAN ポートが複数ある LAN DISK の場合は、「MAC1」の MAC アドレスを入力してください。

4



登録完了画面に表示された  
「ご利用コード」をメモする

※登録通知メールが送付されますので、保管しておいてください。

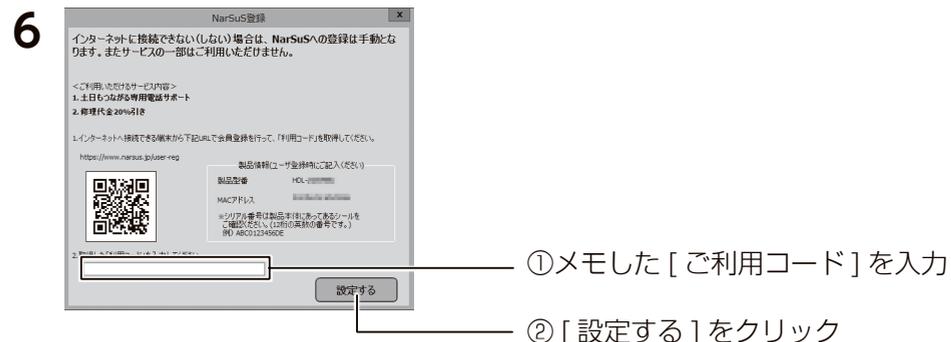
5 本製品にログオンする

注意事項など

初期設定

故障時の対応

資料



以上で NarSuS 登録は完了です。

## 初期設定

初回起動時におこなう必要最小限の設定です。

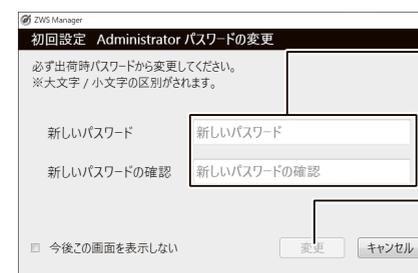
### 1 NAS に設定する以下の項目を確認する

※設置場所のネットワークによります。

- ・ IP アドレス
- ・ サブネットマスク
- ・ デフォルトゲートウェイ
- ・ DNS サーバー

### 2 Administrator でログオンする

### 3 ①新しいパスワードを入力

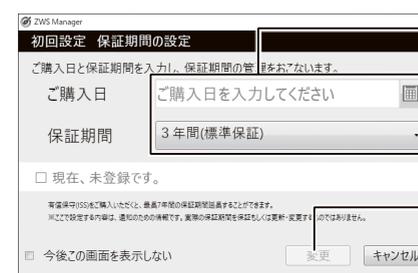


①新しいパスワードを入力

② [変更] をクリック

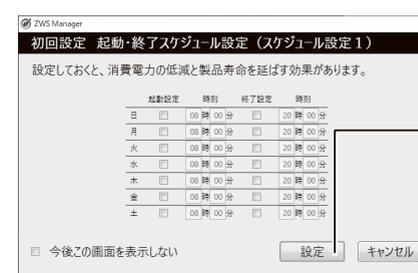
※再度変更する場合は、【困った時には】(41 ページ) 参照

### 4 ①ご購入日と保証期間を選ぶ



② [変更] をクリック

### 5 スケジュール設定をして [設定] をクリック



【日時・時刻設定を確認する】(26 ページ) へお進みください。

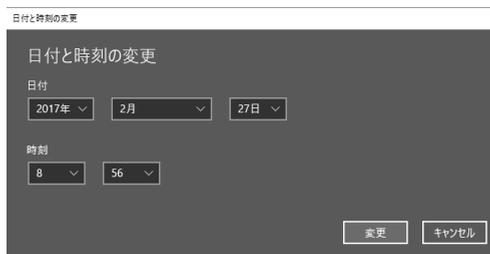
### SNMP を利用する場合

C:\¥I-O DATA フォルダーに設定のためのツールと設定方法を記載したファイルが格納されています。SNMP 設定をおこなう場合は、C:\¥I-O DATA フォルダーを参照してください。

## 日時・時刻設定を確認する

本製品は初期設定で「時刻を自動的に設定する」に設定されています。

本製品がインターネットに接続していない場合は、「日付と時刻を変更する」の「変更」から正確な時刻に設定してください。



## IP アドレスを確認する

1 [サーバーマネージャー]を開く

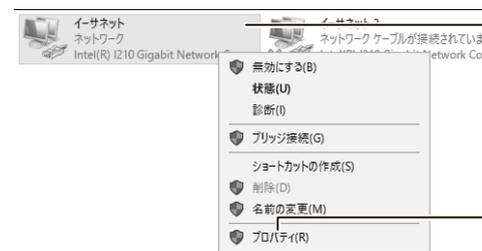
2



① [ローカルサーバー]をクリック

② [イーサネット]横のリンクをクリック

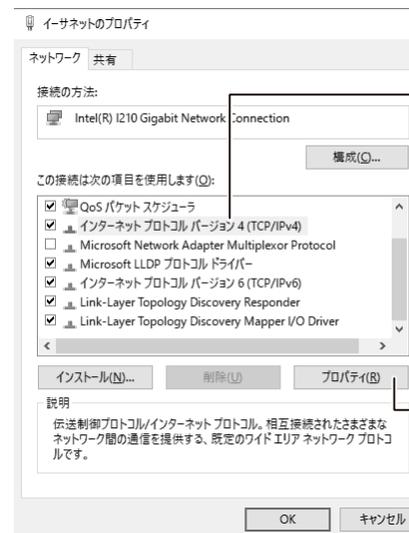
3



①設定するイーサネットを右クリック

② [プロパティ]をクリック

4



① [インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)] を選ぶ

※ IPv6 設定をおこなう場合は、  
[インターネットプロトコルバージョン 6(TCP/IPv6)] を選びます。

② [プロパティ]をクリック

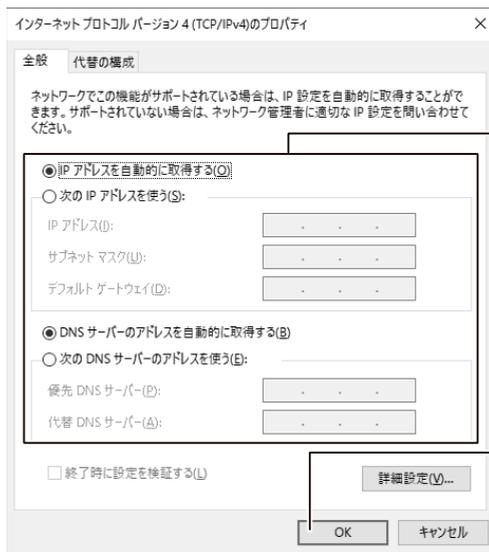
注意事項など

初期設定

故障時の対応

資料

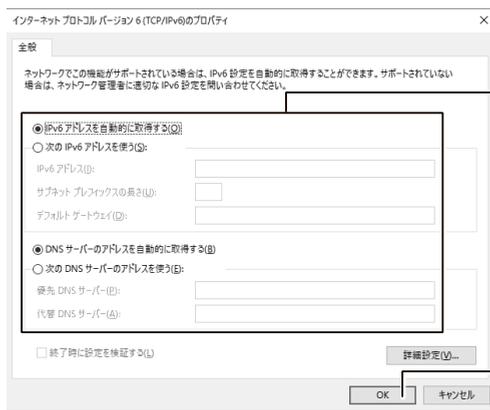
5



① IP アドレスを設定する

② [OK] をクリック

IPv6 の場合



① IP アドレスを設定する

② [OK] をクリック

以上で、設定は完了です。

コンピューター名 / ドメイン名の設定を確認する

※ Active Directory に参加する場合は、【Active Directory へ参加する】（36 ページ）をご覧ください。

1 [サーバーマネージャー] を開く

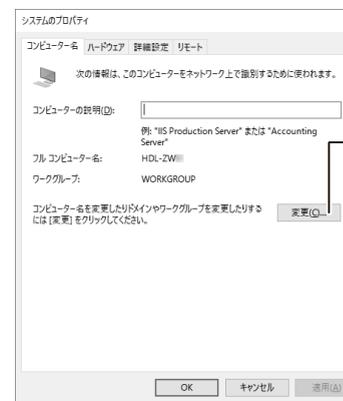
2



① [ローカルサーバー] をクリック

② [コンピューター名] 横のリンクをクリック

3



[変更] をクリック

4



① 必要に応じて設定を変更する

② [OK] をクリック

このあと、画面の指示にしたがって本製品を再起動します。以上で設定は完了です。

注意事項など

初期設定

故障時の対応

資料

## Windows Update を実行する

Windows Update では、本製品にインストールされている OS の既知の脆弱性に対する最新のセキュリティパッチがインストールされます。  
必ずはじめにおこなってください。

### ご注意

- 本手順は、本製品がインターネットにアクセスできる環境にある必要があります。

1 [サーバーマネージャー] を開く

2 ① [ローカルサーバー] をクリック



② [Windows Update] 横のリンクをクリック

3 更新がある場合は、  
[更新プログラムのチェック] をクリック



更新プログラムのダウンロード、インストールが実行されますのでしばらくお待ちください。

以上で、初期設定は完了です。

### 機能について詳しくはヘルプをご覧ください

本書に記載のない機能など詳しくは、[スタート] → [ヘルプとサポート] をご覧ください。

### Windows Server IoT 2022 for Storage のアップデート情報について

下記弊社 Web ページにてご案内しております。  
<https://www.iodata.jp/support/product/windowsupdate/wss2022/>

## 管理ソフト「ZWS Manager」

ZWS Manager は本製品の RAID 管理、温度管理、その他設定をおこなう管理ソフトです。

ZWS Manager は本製品の起動と同時に自動的に起動します。  
初期状態はタスクトレイ上に表示されています。

### ご注意

- ZWS Manager は、Administrator の権限のユーザーでログオンした場合のみ起動できます。

### ZWS Manager メイン画面の表示方法



タスクトレイのアイコンをクリック

ZWS Manager のメイン画面が表示されます。  
画面左側が項目、右側が詳細情報ビューです。



ZWS Manager のバージョンは、  
[バージョン] をご確認ください。

### ZWS Manager のアップデートについて

ZWS Manager は自動アップデートに対応しております。  
自動アップデートの設定は NarSuS アプリでおこないます。詳しくは、【NarSuS 設定画面】(22 ページ) をご覧ください。

### ZWS Manager ヘルプ

ZWS Manager については、ZWS Manager ヘルプでご確認ください。

<https://www.iodata.jp/lib/manual/zwsmanager/>

スマートフォンなどでも閲覧できます。⇒



注意事項など

初期設定

故障時の対応

資料

# RAID 設定

## 本製品で設定できる RAID モード

RAID 1 (出荷時設定)	すべてのハードディスクに同じデータを同時に書き込むため、万一、一方のハードディスクが故障してもデータは安全に保護されます。
RAID 0	すべてのディスクを 1 つのボリュームとして認識します。 データ保護機能はありませんが、大容量と高速性を追求したモードです。
マルチディスク	すべてのディスクを別々に認識します。 設定方法は、次ページをご覧ください。

## RAID モードを変更する場合

### ご注意

- 作業前に、データをバックアップしてください。RAID モード変更時にデータは消去されます。
- 本製品のシステム領域の RAID モードは変更できません。

本製品にインストール済みの「ZWS Manager」で設定します。

- 

タスクトレイの [ZWS Manager] アイコンをクリック
- 

① [RAID ステータス] をクリック

② [DATA] をクリック

③ 変更する RAID モードを選ぶ

④ [RAID モード変更] をクリック

選択した [RAID モード] への変更を開始します。[状態] が再構築中になります。

※ RAID 1 へ構築した場合、1TB HDD 搭載モデルで約 3 時間かかります。

これで RAID モードの変更は完了です。

## マルチディスクに変更する場合

### ご注意

- RAID モードからマルチディスクモード、または、マルチディスクモードから RAID モードに変更する際には、以下にご注意ください。
  - ・すべての保存されていたデータ、設定情報が消去されます。必要なデータや設定情報は、必ずバックアップしてから切り替えてください。
  - ・Windows システムのみ復元します。他のアプリケーション類は復元しません。

## ステップ1 準備する

①次の機材を用意します。

- ・ HDMI ディスプレイ
- ・ USB キーボード、USB マウス
- ・ 添付のリカバリー USB メモリー

②本製品の電源を OFF にしてから、以下の機材を本製品に接続します。

以下の機器以外は接続しないでください。

- ・ HDMI ディスプレイを背面の HDMI コネクタに接続する
- ・ USB キーボード、USB マウスを背面の USB ポートに接続する
- ・ リカバリー USB メモリーを前面の USB ポートに接続する

次に【ステップ2】(次ページ)へお進みください。

## ステップ2 マルチディスクに設定する

- 1 前面の USB ポートにリカバリー USB メモリーをセットし、本製品の電源を入れる

リカバリープログラムが起動します。

**エラーでリカバリーできない場合、リカバリープログラムが起動しない場合**

- BIOS 設定の変更が必要な場合があります。

以下の手順で BIOS 設定を変更してください。

- ① 本製品の電源投入直後より、[Delete] キーを押すつづけて、BIOS 設定画面を起動する
- ② カーソルキーで [Boot] を選ぶ
- ③ カーソルキーで [Boot Option #1] を選び、Enter キーを押す
- ④ [USB Device N: XXX] を選び、Enter キーを押す  
(N はスロット番号、XXX は USB メモリーのメーカー名とモデル名)
- ⑤ カーソルキーで [Save & Exit] → [Save Changes and Exit] → [YES] を選び、Enter キーを押す

以上で BIOS 設定は変更されました。上記の手順 1 より再度実行してください。

- 2 キーボードの 2 を入力し [Enter] キーを押す

(「2 - マルチディスクモードでリカバリー」を選択します。)

※その他の選択については、【システムリカバリーする】(46 ページ)をご覧ください。

- 3 「本当にリカバリーを実行してよろしいですか? (yes/no)」で、[yes] と入力して、[Enter] キーを押す

リカバリーが開始されます。システムのリカバリーには 15 分～ 30 分程度が必要です。

「リカバリーが正常に完了しました。リカバリー USB メモリーを抜いてください。何かキーを押すと再起動します。」と表示されたら、リカバリー USB メモリーを本製品から取り外し、何かキーを押します。

再起動完了後、本製品はマルチディスクモードになっています。

マルチディスクモードの起動直後は、次のようなディスク構成となっています。

ディスク 1	起動用パーティション	システムパーティション	データパーティション
ディスク 2	データパーティション		

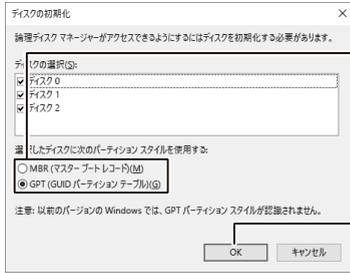
※起動用パーティションがディスク 1 になった場合の例

マルチディスク設定直後は、データパーティションが「未割り当て」となっているため、フォーマットをおこないます。

【ステップ3】(次ページ)へお進みください。

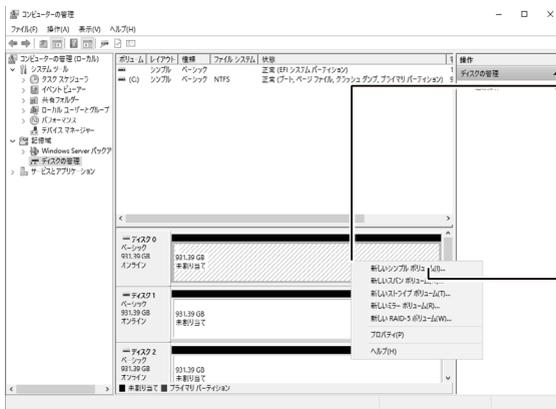
## ステップ3 ディスクを初期化する

- 1 画面の左下にマウスポインターを移動させ、右クリックして表示されたメニューの [ディスクの管理] をクリック

- 2  ①パーティションスタイルを選ぶ

①パーティションスタイルを選ぶ

② [OK] をクリック

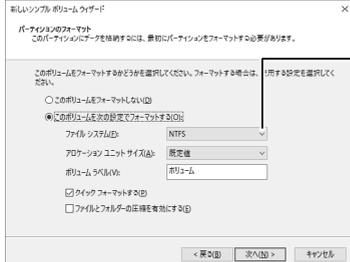
- 3  ①データパーティションを右クリック

①データパーティションを右クリック

※データパーティションは、「未割り当て」と表示されます。

② [新しいシンプルボリューム] をクリック

- 4 シンプルボリュームウィザードが表示されるため、画面の指示にしたがって進める



ファイルシステムでは、[NTFS] を選ぶ以降は画面の指示にしたがってください。

上記手順で、すべてのドライブの未割り当て領域を NTFS フォーマットすると、それぞれのドライブを独立して管理できるようになります。

# Active Directory へ参加する

本製品を Active Directory 環境へ参加させる手順の一例です。  
ご利用のネットワーク環境に合わせ、必要に応じて設定してください。

## ご注意

- 以下の手順の前に、本製品の DNS サーバー設定をおこなう必要があります。  
Active Directory ドメイン名を解決可能な DNS サーバーを指定してください。

### 1 [サーバーマネージャー]を開く

2



① [ローカルサーバー] をクリック

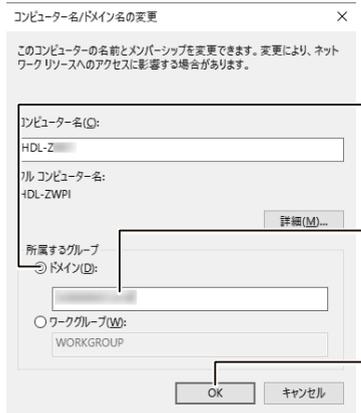
② ワークグループ横の設定値をクリック

3



[変更] をクリック

4

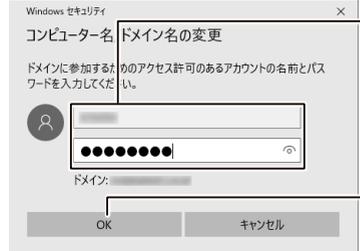


① [ドメイン] を選択

② ドメイン名を入力

③ [OK] をクリック

5



① ドメインにアクセス可能な [ユーザー名]、[パスワード] を入力

② [OK] をクリック

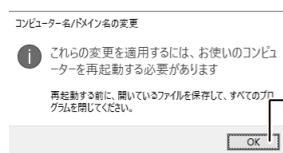
6



[OK] をクリック

※この画面が表示されない場合は、ユーザー名、パスワードが正しいことをご確認ください。

7



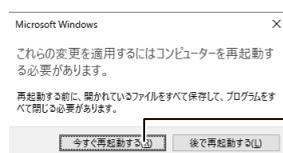
[OK] をクリック

8



[閉じる] をクリック

9



[今すぐ再起動する] をクリック

再起動後、本製品は Active Directory へのログオンができます。  
[サーバーマネージャー] から、[ローカルサーバー] をクリックし、ドメイン欄に参加したドメイン名が表示されていれば完了です。

注意事項など

初期設定

故障時の対応

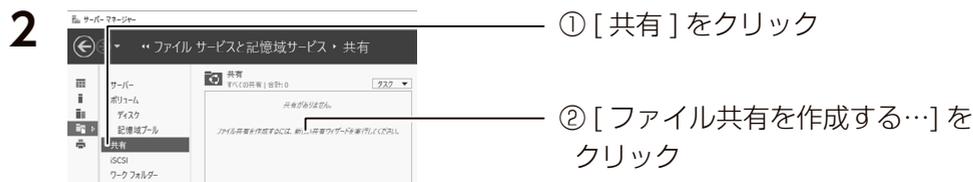
資料

# Active Directory で共有を作成する

Active Directory に登録されているユーザーが、読み書き可能な共有フォルダーを本製品に作成する手順です。

Active Directory 連携する共有フォルダーを作成するには、本製品が Active Directory へログオンしている必要があります。あらかじめ Active Directory へログオンしておいてください。

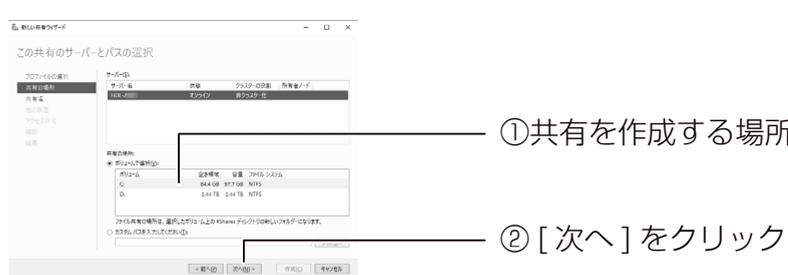
1 [サーバーマネージャー] → [ファイルサービスと記憶域サービス] を開く



3 ① 共有の種類を選ぶ



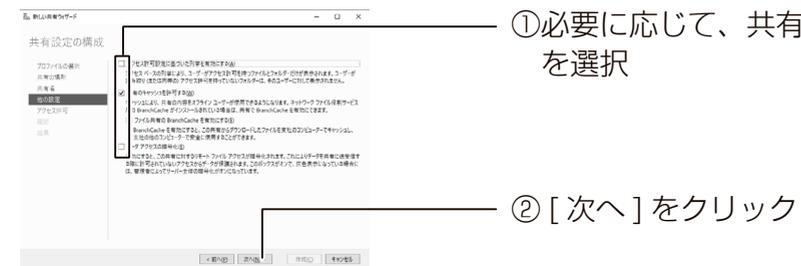
4 ① 共有を作成する場所を選ぶ



5 ① [共有名] を入力 ※他の項目も必要に応じて設定します。



6 ① 必要に応じて、共有設定の構成を選択



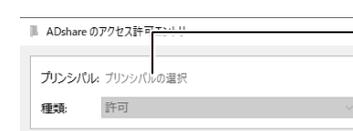
7 [アクセス許可をカスタマイズする] をクリック



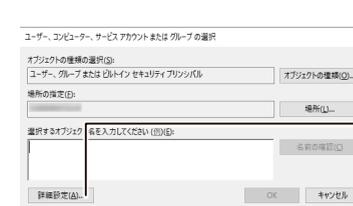
8 ① [共有] をクリック



9 [プリンシパルの選択] をクリック



10 [詳細設定] をクリック

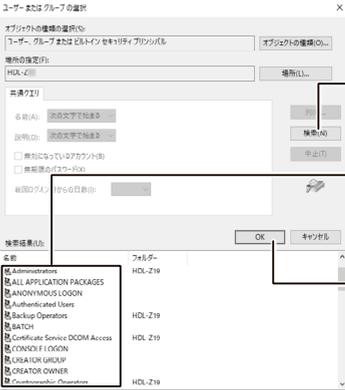
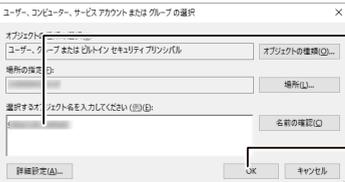
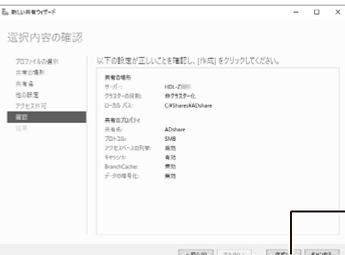


注意事項など

初期設定

故障時の対応

資料

- 11** ユーザーまたはグループの選択
- 
- ① [ 検索 ] をクリック
- ② グループに登録するユーザーを選択
- ③ [OK] をクリック
- 12** ユーザー、コンピュータ、サービスアカウントまたはグループの選択
- 
- ① 選択したユーザー（グループ）が表示されていることを確認
- ② [OK] をクリック
- 13** ユーザー、コンピュータ、サービスアカウントまたはグループの選択
- 
- ① 選択したユーザーが表示されていることを確認
- ② アクセス許可を設定
- ③ [OK] をクリック
- 14** ユーザー、コンピュータ、サービスアカウントまたはグループの選択
- 
- [OK] をクリック
- 15** ユーザー、コンピュータ、サービスアカウントまたはグループの選択
- 
- [次へ] をクリック
- 16** ユーザー、コンピュータ、サービスアカウントまたはグループの選択
- 
- [作成] をクリック

結果画面が表示されますので、[閉じる] ボタンをクリックします。  
これで Active Directory 環境で共有フォルダーが作成されました。

## その他の設定

HDL-Z シリーズ詳細ガイド (HTML) では、Windows Server での共有設定などの操作例をいくつかご案内しています。

必要に応じて下記ページにアクセスし参照してください。

[https://www.iodata.jp/lib/manual/hdl-z\\_manual/index.html](https://www.iodata.jp/lib/manual/hdl-z_manual/index.html)



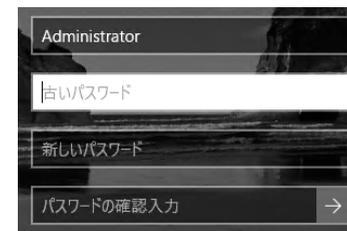
←スマホからでもアクセスできます。

## 困った時には

### Administrator のパスワードを再変更したい

初期設定時にパスワードの変更ができますが、再度変更したい場合は以下の手順にしたがってください。

- ① Administrator でログオンする
- ② キーボードの [Ctrl]+[Alt]+[End] キーを押す
- ※本製品にキーボード等を接続している場合は、キーボードの [Ctrl]+[Alt]+[Delete] キーを押す
- ③ [パスワードの変更] をクリック
- ④ パスワードを設定する



### 出荷時設定

出荷時のパスワードは「admin」です。  
Administrator のパスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力します。

### その他、困った時には

I-O DATA サポート Web ページをご確認ください。

<https://www.iodata.jp/support/qa/landisk/hdl-z.htm>



注意事項など

初期設定

故障時の対応

資料

# 故障時の対応

## 故障と思ったら…

故障したカートリッジのディスクランプは赤点灯します。  
本製品の各ディスクランプをご確認の上、カートリッジを交換してください。

カテゴリ	STATUS	ディスク	ブザー*	動作内容	対処
通常稼働時	緑点灯	緑点灯	なし	通常稼働	—
RAID 再構築	緑点滅	緑点滅	ピロツ	RAID 再構築中のとき	RAID を再構築中です。再構築が完了するまでカートリッジの抜き差しを行わないでください。
エラー	赤点滅	該当ディスク赤点灯	ピッ ピッ、 ピッ ピッ…	デグレード発生時	至急ボリュームのバックアップを取ってください。構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。
	赤点滅	全ディスク赤点灯	ピー ポー、 ピー ポー…	RAID 崩壊時	至急ボリュームのバックアップを取ってください。ボリュームに対してチェックディスクを実行し、ファイルシステムに問題がないことを確認してください。ログ・メールより構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。ボリュームにアクセスできなくなった場合は、ボリュームを再構築してください。
	赤点灯	全ディスク赤点灯	なし	起動ディスクがない時	起動ディスクが接続されていません。カートリッジが正常に接続されていることを確認してください。
	赤点灯	緑点灯	なし	温度異常の時	設置環境を確認し、FAN からの排熱が逃げ易い環境であることを確認してください。温度異常を検知したら自動的に電源が切れますので、再起動後に再び同じ現象が起きたら FAN が正常に稼働していることを確認してください。
ボリューム不正	緑点滅	緑点滅	ピー、 ピー、 ピー…	ボリューム不正時	ボリュームの状態が製品として想定外の不正な状態になっています。例えば、内蔵ディスクに C ドライブ、D ドライブ以外のボリュームが設定されている場合などに本状態となります。原因が不明な場合は弊社サポートセンターにお問合せください。

\* RAID 状態に変化があったときにブザーが鳴ります。ブザー音が鳴った場合、Func ボタンを押す、または、ZWS Manager 上で [ブザー OFF] をクリックするとブザーが停止します。

## オプションディスク

弊社製 HDLZ-OPA シリーズ

※詳細な情報は、以下の弊社ホームページをご確認ください。  
[https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/nas\\_hdd.htm](https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/nas_hdd.htm)



### ご注意

- オプションディスクには、システムはインストールされていません。
- 本製品の容量を後から増やすことはできません。

注意事項など

初期設定

故障時の対応

資料

# カートリッジの交換方法

## カートリッジ交換時のご注意

- 本製品のカートリッジは、故障時以外には取り外さないでください。不用意に取り外すと冗長性が失われたり、RAID 構成が崩壊してすべてのデータを失う危険があります。
- 必ず本製品の電源が入っている状態で、カートリッジの取り付け / 取り外しをおこなってください。このとき、STATUS ランプの点灯状況や、該当カートリッジのディスクランプが赤点滅（赤点灯でなく）または消灯していることを確認した上で取り外してください。
- カートリッジの交換の前に必要なデータはバックアップしてください。
- カートリッジの取り付け・取り外しは、必ず1台ずつ、以下の説明通りにおこなってください。

## 【重要】ディスク1を交換した場合は、必ず以下の手順にしたがってください

次の手順で設定をおこなわないと、起動しないなどのトラブルになるおそれがあります。必ず以下の手順にしたがってください。

- ①本製品の電源を切り、本製品にディスプレイ、マウス / キーボードを直接つなぐ（詳しくは、【ネットワークを利用せずに設定する場合】（16 ページ）を参照）
- ②本製品の電源を入れ、起動メニューで [セカンダリ] を選択する
- ③ [コントロールパネル] から [システム] → [システムの詳細設定] を開く
- ④ [詳細設定] タブの「起動と回復」の [設定] をクリック
- ⑤ 「既定のオペレーティングシステム」で、[セカンダリ] を選択し設定する

## [ステップ 1] 内蔵ディスクアンプラグ

### ご注意

- マルチディスクの場合、ZWS Manager ではアンプラグできません。タスクトレイの取り外しアイコンから取り外すか、本製品の電源を切ってから交換してください。交換方法は手順6（次ページ）を参照してください。

### 1 タスクトレイのアイコンから、ZWS Manager を起動する



① [内蔵ディスクのアンプラグ] をクリック

② 故障した番号を選択  
※故障時ディスクランプは赤点灯します。

③ [アンプラグ] をクリック

「アンプラグに失敗しました」と表示された

[アンプラグ] 処理ができていません。本製品の電源を切り、【[ステップ 2] カートリッジを入れ替える】（45 ページ）をご覧ください。

次に、故障したカートリッジを外します。次ページへお進みください。

## [ステップ 2] カートリッジを入れ替える

### ご注意

入れ替えるカートリッジは、【オプションディスク】（43 ページ）に記載の交換用カートリッジをお使いください。



1 ①取り外すカートリッジの着脱レバーを上げる

②カートリッジを手前に引いて取り出す

2 本製品の電源が入っていない場合は、電源を入れる

3 ①取り付けるカートリッジの着脱レバーを固定されるまで上げる

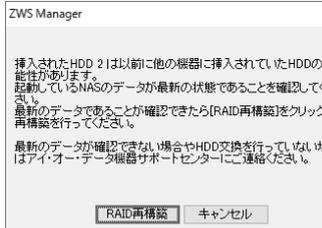
②○を押しカートリッジをスロットの奥まで挿入する

必要以上の力を加えない  
カートリッジを押しこむ際は、必要以上の力を加えないでください。故障の原因となります。

③着脱レバーが“カチッ”となるまで下ろす

以上でカートリッジの交換は終了です。取り付け完了後、ZWS Manager の [自動再構成] が [有効] に設定されている場合は、右の確認画面が表示されます。画面の指示にしたがって RAID 再構築をおこなってください。

マルチディスクモード時は、交換したカートリッジを初期化する必要があります。（【ステップ 3 ディスクを初期化する】（35 ページ）参照）



ZWS Manager

挿入されたHDD 2は以前に他の機器に挿入されていたHDDの可能性があります。起動しているNASのデータが最新の状態であることを確認してください。最新のデータであることが確認できたら[RAID再構築]をクリックし再構築を行ってください。

最新のデータが確認できない場合やHDD交換を行っていない場合は、アイ・オー・データ機器サポートセンターにご連絡ください。

[RAID再構築] [キャンセル]

注意事項など

初期設定

故障時の対応

資料

# システムリカバリーする

## ご注意

- システムリカバリーをおこなうと、選択したモードによっては、本製品のシステムドライブ (C:) およびデータ領域は完全に出荷時の状態に戻ります。保存されていたデータや、設定情報はすべて失われますので、必ず事前にバックアップしてください。
- システムリカバリー後、システム領域および選択したモードによってはデータ領域の再構築がおこなわれます。
- システムリカバリーは、必ずすべてのカートリッジが取り付けられた状態でおこなってください。
- システムリカバリーをおこなうためには、添付のリカバリー USB メモリーが必要です。リカバリー USB メモリーの ISO イメージは、弊社 IOPortal からダウンロードできます。方法は、詳細ガイドをご覧ください。

## 準備するもの

①次の機材を用意します。

- ・ HDMI ディスプレイ
- ・ USB キーボード、USB マウス
- ・ 添付のリカバリー USB メモリー

②本製品の電源を OFF にしてから、以下の機材を本製品に接続します。

※以下の機器以外は接続しないでください。

- ・ HDMI ディスプレイを背面の HDMI コネクターに接続する
- ・ USB キーボード、USB マウスを背面の USB ポートに接続する
- ・ リカバリー USB メモリーを前面の USB ポートに接続する

・ 出荷時状態に戻す場合は、

【出荷時状態に戻す場合】(47 ページ) をご覧ください。

・ USB HDD に保存したバックアップデータから復元する場合は、

【バックアップデータから復元する場合】(49 ページ) をご覧ください。

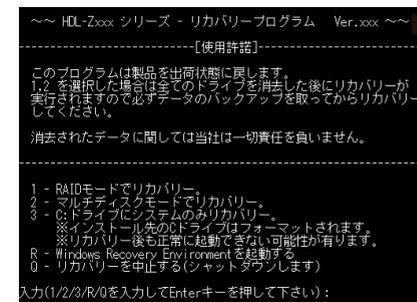
## 出荷時状態に戻す場合

- 1 前面の USB ポートにリカバリー USB メモリーをセットし、本製品の電源を入れる  
リカバリープログラムが起動します。

### エラーでリカバリーできない場合、リカバリープログラムが起動しない場合

- BIOS 設定の変更が必要な場合があります。  
以下の手順で BIOS 設定を変更してください。
  - ①本製品の電源投入直後より、[Delete] キーを押しつづけて、BIOS 設定画面を起動する
  - ②カーソルキーで [Boot] を選ぶ
  - ③カーソルキーで [Boot Option #1] を選び、Enter キーを押す
  - ④ [USB Device N: XXX] を選び、Enter キーを押す  
(N はスロット番号、XXX は USB メモリーのメーカー名とモデル名)
  - ⑤カーソルキーで [Save & Exit] → [Save Changes and Exit] → [YES] を選び、Enter キーを押す
- 以上で BIOS 設定は変更されました。上記の手順 1 より再度実行してください。

2



該当するキーを押し、Enter キーを押す

※ここでは例として、[1 - RAID モードでリカバリー]をおこなうため、[1] キーを入力します。

1	出荷時状態の RAID モードにリカバリーします。すべてのデータが消去されます。
2	マルチディスクモードに設定します。すべてのデータが消去されます。 ※マルチディスクモードについては、【マルチディスクに変更する場合】(33 ページ) をご覧ください。
3	システム領域のみリカバリーします。データは残りますが、起動情報が失われている場合は復元できない場合があります。
R	バックアップデータからリカバリーする場合に選択します。【バックアップデータから復元する場合】(49 ページ) をご覧ください。
Q	リカバリーを中止します。

- 3 「本当にリカバリーを実行してもよろしいですか? (yes/no)」と表示されたら“yes”と入力し、Enter キーを押す  
→リカバリーを開始します。リカバリーが完了するまでしばらくお待ちください。  
※選択をやり直す場合は、“no”を入力してください。

注意事項など

初期設定

故障時の対応

資料

- 4** 完了のメッセージが表示されたら、リカバリー USB メモリーを取り外し、何かキーを押す

再起動後、システム領域にリビルドがおこなわれます。

※リビルド中は本製品の操作・動作が遅くなります。

#### ご注意

- Windows の初期化作業のため、起動するまでに何度か自動的に再起動します。
- [1 - RAID モードでリカバリー] を行った場合、Windows 起動後にデータボリュームの生成をおこないます。データボリュームの生成には、RAID のリビルド作業を伴います。

## バックアップデータから復元する場合

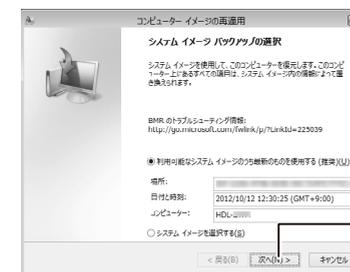
- 1 バックアップデータが保存された USB HDD を本製品につなぐ
- 2 前面の USB ポートにリカバリー USB メモリーをセットし、本製品の電源を入れる  
リカバリープログラムが起動します。

#### エラーでリカバリーできない場合、リカバリープログラムが起動しない場合

- BIOS 設定の変更が必要な場合があります。  
以下の手順で BIOS 設定を変更してください。
- ① 本製品の電源投入直後より、[Delete] キーを押しつけて、BIOS 設定画面を起動する
  - ② カーソルキーで [Boot] を選ぶ
  - ③ カーソルキーで [Boot Option #1] を選び、Enter キーを押す
  - ④ [USB Device N: XXX] を選び、Enter キーを押す  
(N はスロット番号、XXX は USB メモリーのメーカー名とモデル名)
  - ⑤ カーソルキーで [Save & Exit] → [Save Changes and Exit] → [YES] を選び、Enter キーを押す
- 以上で BIOS 設定は変更されました。上記の手順 1 より再度実行してください。

- 3 “R” と入力し、Enter キーを押す  
※ [R - Windows Recovery Environment を起動する] を選びます。
- 4 「キーボードレイアウトの選択」で、[Microsoft IME] をクリック
- 5 「オプションの選択」で、[トラブルシューティング] をクリック  
※リカバリープログラムがドライブ C: に Windows システムを発見した場合、[続行] と表示されます。[続行] をクリックすると、リカバリープログラムを終了して、Windows を起動します。
- 6 「詳細オプション」で、[イメージでシステムを回復] をクリック
- 7 OS 選択が表示された場合は、[Windows Server] をクリック

8



[次へ] をクリック

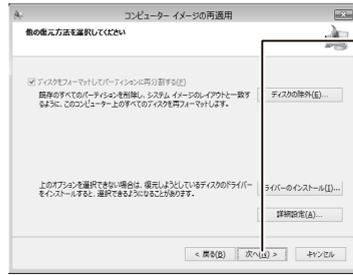
注意事項など

初期設定

故障時の対応

資料

9



[次へ]をクリック

- ※バックアップ時と同じ個体に対してリカバリーをおこなう場合、チェックを外します。
- ※バックアップ時とは別の個体に対してリカバリーをおこなう場合、チェックを入れます。
- ※チェックができない場合は、ハードディスクに対して Diskpart の clean コマンドを実施してください。

### Diskpart の clean コマンドの実施方法

- ① USB HDD などの機器を取り外す
  - ※誤って対象以外のディスクを消さないためです。
- ② リカバリー USB メモリーからコマンドプロンプトを起動する
  - ※ [詳細オプション] (前ページ手順 5) で [コマンドプロンプト] を選択します。
- ③ diskpart と入力し、[Enter] キーを押す
- ④ list disk と入力し、[Enter] キーを押す
- ⑤ すべてのカートリッジのディスク番号を確認
- ⑥ sel disk x(xは⑤で確認した番号) と入力し、[Enter] キーを押す
- ⑦ detail disk と入力し、[Enter] キーを押す (目的のディスクであることを確認)
- ⑧ clean と入力し、[Enter] キーを押す
- ⑨ ⑥~⑧を繰り返し、すべてのカートリッジで clean を実行する
- ⑩ exit と入力し、[Enter] キーを押す
- ⑪ 本製品をシャットダウンし、手順 2 ~ 10 をおこなう
  - ※チェックはグレーアウトしていますが、そのまま [次へ] をクリックしてください。

10



[完了]をクリック

11



内容を確認し、  
[はい]をクリック

### ご注意

- [はい] をクリックすると、現在のディスク内容はすべて消去され、バックアップされていたイメージに置き換わります。

以上で復元処理は完了です。復元後は自動的に再起動しますので、リカバリー USB メモリーを抜いてお待ちください。

## 出荷時設定

コンピューター名	HDL-Z22SI3A
ワークグループ名	WORKGROUP
IP アドレス	自動取得
DNS サーバーアドレス	自動取得
RAID 状態	RAID 1

注意事項など

初期設定

故障時の対応

資料

# ZWS Manager のログ、メール一覧

## Windows のイベントビューアーにも記録されます

各種イベントログは、Windows の [ サーバーマネージャ ] を開き、[ ツール ] → [ イベントビューアー ] をクリックし、イベントビューアーの [ Windows ログ ] → [ Application ] 内に「ソース名：ZWSRAID」で記録されます。

ログ・メール内容	メールタイトル	概要	対処
内蔵スロット x のディスクにエラーが検出されました。システムを再起動しても再度エラーが検出される場合は、ディスクに致命的なエラーが発生している可能性があるため、至急交換してください。(x は、1 ~ 2)	ディスクエラー	内蔵スロット x のディスクが「エラー」状態になった。(x は、1 ~ 2)	至急システムボリュームおよびデータボリュームのバックアップを取ってください。 システムボリュームおよびデータボリュームに対してチェックディスクを実行してファイルシステムに問題がないことを確認してください。システムを再起動可能な場合は、再起動を行ってエラーが消えるか確認してください。 内蔵スロット x のディスクを交換してください。 ZWS Manager からアンプラグできない場合は、システムの電源を切ってから交換してください。(x は、1 ~ 2)
システムボリューム上にエラーが検出されました。	ボリュームエラー	システムボリュームの状態が「失敗」となった。 システムボリュームの情報が「危険」となった。	至急システムボリュームのバックアップを取ってください。 システムボリュームに対してチェックディスクを実行してファイルシステムに問題がないことを確認してください。 構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。 システムが起動不能となった場合は、システムのリストアを行ってください。
データボリューム上にエラーが検出されました。	ボリュームエラー	データボリュームの状態が「失敗」となった。 データボリュームの情報が「危険」となった。	至急データボリュームのバックアップを取ってください。 データボリュームに対してチェックディスクを実行してファイルシステムに問題がないことを確認してください。 構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。 データボリュームにアクセスできなくなった場合は、データボリュームを再構築してください。
システムボリュームの冗長性が失われています。	ボリュームエラー	システムボリュームの状態が「冗長の失敗」となった。	至急システムボリュームのバックアップを取ってください。 構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。
データボリュームの冗長性が失われています。	ボリュームエラー	データボリュームの状態が「冗長の失敗」となった。	至急データボリュームのバックアップを取ってください。 構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。
システムボリュームの再構築が開始されました。	ボリューム情報	システムボリュームの状態が「再構築中」となった。	システムボリュームの状況を確認してください。
データボリュームの再構築が開始されました。	ボリューム情報	データボリュームの状態が「再構築中」となった。	データボリュームの状況を確認してください。

ログ・メール内容	メールタイトル	概要	対処
システムボリュームの再構築が完了しました。	ボリューム情報	システムボリュームの状態が（「正常」以外の状態から）「正常」となった。	システムボリュームの状況を確認してください。
データボリュームの再構築が完了しました。	ボリューム情報	データボリュームの状態が（「正常」以外の状態から）「正常」となった。	データボリュームの状況を確認してください。
ZWS RAID Manager で管理できない状態です。	(メールなし)	内蔵ディスク上にボリュームが 3 個以上存在する。	内蔵ディスク上にシステムボリュームと、データボリュームが 1 個だけ存在する状態にしてください。
本体内部の温度が仕様範囲を超えたため本体をシャットダウンしました。	温度異常	システム温度が仕様範囲を超えた。	設置環境を確認し、FAN からの排熱が逃げ易い環境であることを確認して下さい。温度異常を検知したら自動的に電源が切れますので、再起動後に再び同じ現象が起きたら FAN が正常に稼働していることを確認してください。
ファンの回転数が仕様範囲を下回ったため本体をシャットダウンしました。	ファン回転異常	NAS 本体に付属の FAN の回転数が仕様範囲を下回った。	FAN が正常に稼働していることを確認し、異常があれば修理してください。
Func ボタンが押され登録されているコマンド xxx が実行されました。(xxx は登録したコマンド)	(メールなし)	Func ボタンが有効で、Func ボタンが押された。	Func ボタン機能が有効の場合は、Func ボタンを 3 秒以上押しと登録したコマンドが実行されますので、登録されたコマンドが実行されたことを確認してください。

注意事項など

初期設定

故障時の対応

資料

## アクティブリペア関連のログ、メール一覧

表示内容	説明	イベントログ	メール	NarSuS
手動操作によるアクティブリペアを開始しました。	「今すぐ実行」ボタンによりアクティブリペアを開始された。	あり	あり	あり
スケジュール実行によるアクティブリペアを開始しました。	スケジュール実行によるアクティブリペアを開始された。	あり	あり	あり
システムボリュームのアクティブリペアを開始しました。	システムボリュームのアクティブリペアを開始した。	あり	あり	あり
データボリュームのアクティブリペアを開始しました。	データボリュームのアクティブリペアを開始した。	あり	あり	あり
システムボリュームのアクティブリペアが完了しました。	システムボリュームのアクティブリペアが完了した。	あり	あり	あり
データボリュームのアクティブリペアが完了しました。	データボリュームのアクティブリペアが完了した。	あり	あり	あり
アクティブリペアが中断されました。	「停止」ボタン、NAS 再起動などによりアクティブリペアが中断された。	あり	あり	なし
アクティブリペア実行中にシステムボリュームで修復不可能なセクタが検出されました。 アクティブリペアを終了します。	アクティブリペア実行中にシステムボリュームの見つかった不良セクタの修復を試みた修復できなかった。	あり	あり	あり
アクティブリペア実行中にデータボリュームで修復不可能なセクタが検出されました。 アクティブリペアを終了します。	アクティブリペア実行中にデータボリュームの見つかった不良セクタの修復を試みた修復できなかった。	あり	あり	あり
システムボリュームのアクティブリペアに失敗しました。	システムボリュームのアクティブリペア実行中に問題が発生したのでエラー終了した。	あり	あり	あり
データボリュームのアクティブリペアに失敗しました。	データボリュームのアクティブリペア実行中に問題が発生したのでエラー終了した。	あり	あり	あり

## アフターサービス

## 重要

- 本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。
- 個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー (<https://www.iodata.jp/privacy.htm>) に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

## お問い合わせ方法

よくあるご質問、マニュアル、最新ソフトウェア


<https://www.iodata.jp/lib/>

電話でのお問い合わせ

050-3116-3025

受付 9:00～17:00 月～金曜日(祝祭日・年末年始・夏期休業期間をのぞく)

※お問い合わせいただく際は、商品の型番をご用意ください。

メールでのお問い合わせ


<https://contact.iodata.jp/sp/inquiry/landisk/corporate>

注意事項など

初期設定

故障時の対応

資料

## 修理の流れ

保証期間 **3** 年間

①	②	③	④	⑤	⑥
修理申込 (申込番号発行)	修理センター に送付	検査	有償時のみ 見積連絡	修理	修理品 返送

### ①Webで修理申込

【重要】修理申込をおこなうと、申込番号が発行されます。



<https://www.iodata.jp/support/after/repair/>

※Webページから修理申込がおこなえない場合は、申込番号の代わりに[名前・住所・TEL (FAX)・E-Mail・症状]を書いたメモを商品に同梱してお送りください。

### ②修理センターに送付

- 商品一式
- 申込番号を書いたメモ (Web申込時に発行された番号)
- レシートや納品書など、購入日を示すもの



〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地

(株)アイ・オー・データ機器 修理センター宛

TEL 076-260-3617

※紛失をさけるため宅配便でお送りください。

※送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担です。

※厳重に梱包してください。弊社到着までに破損すると有料修理となる場合があります。

※液晶ディスプレイ製品の場合、パネル部分を持つとパネル内部が破損します。取扱いには、充分注意してください。

※修理の進捗状況は上記Webページでご確認いただけます。(申込番号で検索)

## ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定（以下「本保証規定」といいます。）に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品（以下「本製品」といいます。）の無料での修理または交換をお約束するものです。

### 1 保証内容

取扱説明書（本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。）等にしたがった正常な使用状態で故障した場合、ハードウェア保証書をご提示いただく事によりそこに記載された期間内においては、無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

### 2 保証対象

保証の対象となるのは弊社が提供する最新のファームウェア、またはソフトウェアを適用した本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

### 3 保証対象外

以下の場合には保証の対象とはなりません。

- 1) 保証書に記載されたご購入日から保証期間が経過した場合
- 2) 修理で依頼の際、ハードウェア保証書のご提示がいただけない場合
- 3) ハードウェア保証書の所定事項（型番、お名前、ご住所、ご購入日等〔但し、ご購入日欄については、保証期間が無期限の製品は除きます。〕）が未記入の場合または字句が書き換えられた場合
- 4) 中古品でご購入された場合
- 5) 発火、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
- 6) お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
- 7) 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
- 8) 取扱説明書に記載の使用方法または注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
- 9) 合理的使用方法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
- 10) 弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
- 11) 弊社が寿命に達したと判断した場合
- 12) 保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
- 13) その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

### 4 修理

- 1) 修理を弊社へご依頼される場合は、本製品とご購入日等の必要事項が記載されたハードウェア保証書を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
- 2) 発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
- 3) 本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。
- 4) 弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

### 5 免責

- 1) 本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
- 2) 弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。
- 3) 本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

### 6 保証有効範囲

弊社は、日本国内のみにおいてハードウェア保証書または本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。

Our company provides the service under this warranty only in Japan.

**【マイクロソフトソフトウェアライセンス条項】**

必要に応じて下記ページにアクセスし参照してください。



[https://www.iodata.jp/lib/manual/hdl-z\\_manual/data/WS2022\\_IoT\\_EULA.pdf](https://www.iodata.jp/lib/manual/hdl-z_manual/data/WS2022_IoT_EULA.pdf)

**【ご注意】**

- 1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。  
したがって、別段の定めが無い限り、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
- 2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関する設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んだの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、発火事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、発火延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意ください。
- 3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。  
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
- 4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

発行 株式会社アイ・オー・データ機器

商品アンケートにご協力願います



型番	HDL2-Z22SI3Aシリーズ
保証期間	ご購入日より <b>3</b> 年間有効です SSD搭載モデルのSSDが保証総書き込み容量に達した場合は、SSDは保証対象外となります。

☆お 客 様	ふりがな	
	お名前	様
	TEL. (        )        -	
客 様	〒□□□-□□□□	ご住所

「ハードウェア保証規定」をご確認の上、☆印の箇所に楷書で明確にご記入ください。記入漏れがありますと、保証期間内でも無料修理が受けられませんのでご注意ください。販売店欄は販売店でご記入いただくものです。記入がない場合はお買い上げの販売店にお申し出ください。また、本保証書は再発行いたしませんので紛失しない様大切に保管してください。

販 売 店	ご購入日	
	住所・店名	
	TEL. (        )        -	印

ご販売店様へ

- お客様へ商品をお渡しする際は必ず販売日をご購入日欄に記入し貴店名/住所、貴店印をご記入ご捺印ください。
- 記載漏れがありますと、保証期間内でも無償修理が受けられません。

取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、ハードウェア保証規定に従った保証を行いますので、商品と本保証書をご持参ご提示の上お買い求めの販売店または、弊社（修理センター宛）にご依頼ください。



### 【技術動向、導入事例などについて】

次のサイトに、弊社製ネットワークハードディスク（NAS）「LAN DISK シリーズ」に関するホワイトペーパーを掲載しています。必要に応じてご確認ください。

<https://www.iodata.jp/biz/whitepaper/>



### 【保守サービスのご案内】

アイオー・セーフティ・サービス（ISS）は、本製品をより長く安心してご利用いただくために、万が一の場合の保守を実施する有償保守サービスです。設置から、故障時の交換、ハードディスクのデータ復旧まで充実のサービスをご用意。ワンストップでのサービスをご提供いたします。詳しくは以下をご確認ください。

<https://www.iodata.jp/biz/iss/tokusetsu/>



進化する明日へ Continue thinking

株式会社 **アイ・オー・データ機器**

<https://www.iodata.jp/>